

# 地震被害の マルチスケール 要因分析

大邑潤三（東京大学地震研究所助教）著

A5判・上製本  
232頁

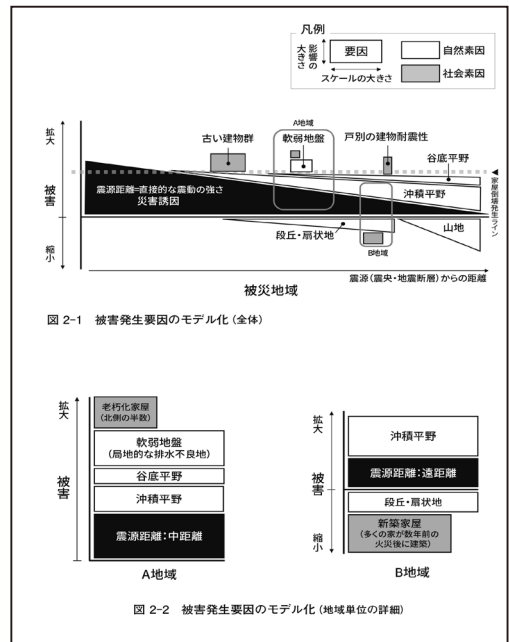
本体4,500円  
ISBN978-4-909782-22-9

3月上旬  
取次搬入

1927年北丹後地震 1925年北但馬地震 1830年文政京都地震  
3つの地震被害を復原・分析

- ◆複雑で重層的な地震被害の諸要因を、地震断層や震央との位置関係といったマクロレベルから、集落ごとの諸条件の違い、個別の建物や住民の性質の差といったメソあるいはミクروسケールの幅広いスケールにわたって分析。
- ◆地理学の視点から俯瞰的に捉えることで、被害の拡大要因や縮小要因の構造をモデル化する。
- ◆幅広いスケールの分析を整理してモデル化を行うことで、事例や地域を跨いだ比較を可能にし、複雑化した現代社会における地震防災にもつなげる研究。

※日本学術振興会 科研費 研究成果公開促進費 助成図書



ご注文FAX 075-708-6839

小さ子社行 BookCellar / 一冊! 取引所もご利用いただけます



BookCellar



一冊! 取引所

銚谷書店扱い 銚谷書店を通じ、日販・トーハン・楽天BNなどの帳合書店にお送りします

[書店名・番線印]	冊数	<b>地震被害の マルチスケール要因分析</b> ISBN978-4-909782-22-9 定価：本体 4,500 円 (税別) 条件：注文 (返品条件付 担当 原宏一)
	冊	
	ご担当者	
	ご注文日	

発行：小さ子社 (2018年6月設立) 京都市左京区田中北春菜町 26-21 TEL075-708-6834 info@chiisago.jp